

○単元の目標及び評価規準の設定

生活科の場合、単元の目標を、次のように設定します。

単元を構成する内容について、学習指導要領に示された記載事項を確認する。

生活科の各内容には、一文の中に「児童が直接関わる学習対象や実際に行われる活動等」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「知識及び技能の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の四つが構造的に組み込まれている。具体的な学習対象や活動を入れて、3つの資質・能力につなげて作成する。一文で示す場合もある。

単元の評価規準は、次のように設定します。学習指導要領解説生活編において示された各内容の資質・能力に関する記述等を参考に具体的な学習対象や活動を入れる。

◆「知識・技能」は、文末表現を「分かっている」「気付いている」などとする。気付きなどの知識の基礎や生活上必要な習慣、技能を記述する。

◆「思考・判断・表現」は、「～考えている」「～している」などとする。具体的な学習活動において期待する思考と児童の姿を記述する。

◆「主体的に学習に取り組む態度」は、「～しようとしている」などとする。①粘り強さ、②学習の調整、③実感や自信、に関して具体的に表したものを、児童の姿を記述する。

子供たちに求められる資質・能力を確実に育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進めていくことが重要です。そのため、単元を通してどのような子供たちの姿を目指していくのかを明確にイメージし、単元を構想しましょう。

小学校第1学年生活科 学習構想案

1 単元構想

単元名	「ひろがれ えがお」		
単元の目標	○家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かる。 ○家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができる。 ○家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。		
単元の評価規準	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、家庭での生活は、互いに支え合っていることが分かり、家庭での自分の役割に気付いている。	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、家庭での家族のことやそのよさ、自分でできることなどについて考えている。	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

ア 単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）
 家庭生活をよりよくするために取り組んだことを生かして、家族の笑顔が増やせるように自分にできること続けたり、挑戦したりしようとする子供

単元を通した課題（単元の中心的な課題）	本単元で働かせる見方・考え方
家族のみんなが笑顔で生活できるように、自分ができることは、 ① どのようなことだろう。	家庭生活において、それ ② のよさや果たしている仕事、役割があること、それらと自分との関わりに気付き、互いに ③ 支え合っていること、自分も家庭を構成している大切な一人であることがわかる。

指導計画と評価計画（10時間取扱い 本時 / 10）

過程	時間	学習活動	具体的評価規準
一	3	○家族を笑顔にするために、自分ができることについて考える。 ○家庭での生活を振り返り、家族がしていること、自分がしていることについて調べる。 ○家庭で生活で、家族や自分がしていることについて絵や文で表現する。	【知】 ノート・発言 ○家庭生活では、それぞれ果たしている仕事や役割があることが分かっている。 【思】 ワークシート・発言 ○家族のことや自分がしていることについて表現している。
二	4	○家庭生活の中で、自分にできることや家族が喜んでくれるようなことについて考える。 ○自分にできることや挑戦したいことを、友達同士で教え合う。 ○自分でできることや挑戦したいことを決めて、計画を立てる。（家庭で実行）	【知】 ノート・発言 ○自分でできることや自分の役割に気付いている。 ★【思】 ワークシート ○家庭生活における役割を考え、自分でできることや挑戦したいことを計画している。 ★【主】 発言・活動 ○家族を笑顔にするために、うまくできるように計画をし、練習をしたり、コツを聞いたりしている。
三	3	○家で取り組んだ自分でできることや挑戦したことを発表する準備をする。 ○家で取り組んだことや挑戦したことを実演や絵、文等で表現し友達に伝える。 ○これからも続けていくための計画をする。	★【知】 ワークシート ○家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。 ★【思】 ワークシート・交流 ○家庭で取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 ★【主】 ワークシート ○自分でできることを続けることや生活リズムや健康についても気を付けて生活しようとしている。

★「単元終了時の子供の姿」のポイント

- 目標や評価規準を踏まえ、具体的な学習や生活の場面での子供の姿となっていますか
 （文末は「～している（しようとしている）子供（児童生徒）」）
- 子供たちと共有できる表現になっていますか

実生活の場面で、学習したことを生かそうとする姿を想定して、書き表した例

- ㊦ 単元で取り組みながら学んだこと（思いや願いを実現する過程）を示しています。
- ① 単元を通して考えていく課題につながる言葉を示しています。
- ② 「続けたり挑戦したりしようとする」に実生活の場面でどのように生かしていくかを示しています。

★「本単元で働かせる見方・考え方」のポイント

- 単元を通した学習課題を解決するための見方・考え方となっていますか
- 見方・考え方を働かせると深い学びになりますか

単元を通した学習課題を踏まえて、どのような視点で物事を捉えて（見方）、どのような考え方で思考していくか（考え方）を想定して、書き表した例

- ㊦ 家庭生活において自分がどのように関わっているのか、身近な生活に関わる見方を示しています。
 （※生活科の場合は、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えること）
- ㊦ 家庭における大切な一人であり、自分にできることはどんなことか等の考え方を示している。
 （※生活科の場合は、自分自身や自分の生活について考えていくこと）

★「単元を通した学習課題」のポイント

- 子供たちが単元を通して興味・関心をもって深く考えることができる学習課題ですか
- 見方・考え方を働かせて課題解決を図ることができるものですか
- 子供たちと共有できる表現ですか
- 単元のゴールの姿に迫るものですか

家庭の中で、自分でできることについて考え取り組んでいくことを通して、自分の役割に気付き積極的に役割を果たしていくことを狙って、書き表した例

- ㊦ 「どのようなことだろう」という問いかけにして単元のゴールの実現を図る。